

広瀬霞復活プロジェクト！！

～昔の広瀬霞の再生、貴重な魚、植物の保管庫～

第10回 広瀬霞自然観察会

平成29年 6月 2日(金)

第10回 広瀬霞自然観察会（共催：重信川の自然をはぐくむ会、松山河川国道事務所）を6月2日（金）に約70名の方々が参加して開催しました。

絶好の観察日和に恵まれ、参加者は再生された広瀬霞の植物、生息する魚類・両生類・鳥類また、外来種について、専門家の先生からの説明を興味深く聴いていました。

自然観察終了後は参加者全員で広瀬霞内の外来植物（オランダガラシ、アゾラクリスタータ等）の駆除ならびに周辺を清掃しました。

・ 司会進行
調査第一課 山崎課長



・ 開会挨拶
重信川の自然をはぐくむ会 矢田部会長



・ 広瀬霞の現状説明
川越先生



・ 外来植物の説明
松井先生



・公園内を移動しながら鳥類の説明

石川先生が鳥類観察に必要な双眼鏡の使い方など基礎知識、ならびに広瀬園に棲む鳥類、重信川および周辺に生息する鳥類について、分かりやすく説明してくれました。



・石川先生からの後日談です

6月2日9時から約2時間にわたり広瀬園とその周辺で12種の野鳥が確認されました。上空に飛来した魚食性のミサゴはここを餌場の一つとしているようで、ヨシ群落には抱卵か巣内育雛しているオオヨシキリの声が賑やかでした。近くの大友山に巣のあるオオタカも重信川をハンティングエリアとしているようです。

大昔、重信川は大雨のごとに流れを変え、瀬、淵、沼、湿原など多様な環境があり、多様な生物が生息していたものと推測されます。しかし、人口増による開発で水環境は激減してしまいましたので、少しでもそれらを修復することにより、生物多様性が高められるとともに、地域の人々にとっては憩いの場となっています。

・ 魚類・両生類の捕獲

三宅先生をはじめとする愛媛大学のみなさん



・ 広瀬園に棲む魚類・両生類

帰ってきた在来種

ミナミヌマエビ、アユ、ウナギ、ナマズ、ドンコなど

・ 三宅先生による広瀬園に生息する魚類の説明



・ 自然観察会後の清掃活動

清掃方法の説明
(豊島専門職)



流入部の外来種の除去
(ツルヨシ)



**流出部の外来種の除去
(オランダガラシ)**



**圃内の外来種の除去
(アゾラクリスタータ)**



公園内の雑草の除去



集積された外来植物とゴミ



**・ 閉会挨拶
松山河川国道事務所 鳥羽所長**



**快晴の中、先生方の有意義な話を聞くことができました。
また年々、広瀬圃に自然が戻ってきていることを感じることができました。**

参加者全員で記念撮影



広瀬園をバックにドローンで記念空撮

